

証券コード：5491

株 主 便 り

第117期
2024年3月期



毎年3月・9月発行

Contents

- P1 トップメッセージ
- P3 トピックス
- P6 業績ハイライト
- P7 会社概要・株主メモ



Multi & Hybrid Material

人と地球にやさしい新たな価値を共創する
Multi & Hybrid Material 企業

“NIPPON KINZOKU 2030” 未来への挑戦が始まる。



日本金属株式会社

トップメッセージ



取締役社長 下川 康志

株主の皆様には、日頃より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
「株主便り2023年9月号」をご高覧いただくにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

市場区分の選択について

市場区分の選択に関しましては、すでに開示しておりますように、スタンダード市場を選択することを2023年8月25日の取締役会で決議し、東京証券取引所に申請しております。

その理由といたしまして、

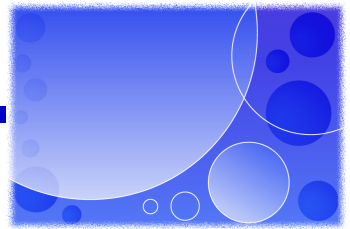
① 当社がプライム市場の上場維持基準を充たしていない流通時価総額については、当社の取り組みだけでは実現できない外的要因も多く、仮に経過措置期間中に上場維持基準に適合した場合でも、安定的かつ継続的に上場維持基準を充たすことができなくなるリスクがあることから、当社の株主の皆様が安心して当社株式を保有・売買いただける環境を確保することが重要だと判断いたしました。

② 当社は経過措置終了後となる2030年3月期を最終年度とする第11次経営計画（10か年計画）に基づき事業構造の変革や成長市場を捉えた新規事業化に向けた新規設備投資などの施策を計画的に実行しております。このような状況のもと、プライム市場の上場維持基準に適合するための短期的な視点ではなく、中長期的な視点で第11次経営計画の実現に向け、限られた経営資源を戦略的に活用することが、当社の持続的な企業価値と株主利益の向上に繋がるものと判断いたしました。

当社といたしましては、スタンダード市場に上場以降においても第11次経営計画に基づく取り組みに加え、資本コストや株価を意識した経営の実現を推進し、企業価値向上を図ってまいります。

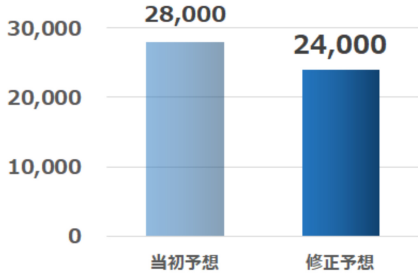
業績修正について

また、2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想及び2024年3月期通期連結業績予想の修

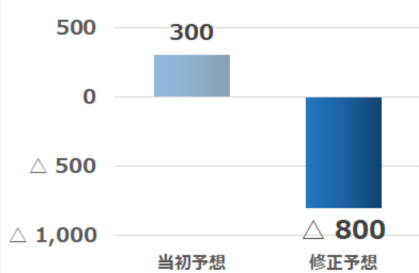


2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想

売上高



営業損益



正につきまして、2023年8月25日付で開示しております。2024年3月期第2四半期累計期間につきましては、当社グループ製品の主要取引先である自動車関連産業での半導体不足の解消により需要が回復すると見込んでおりましたが、国内におけるサプライチェーン間での在庫調整が長引いており、また海外ではEV化への加速や中国市場の低迷などの影響により、実需の回復が大幅に遅れております。さらに、コロナ禍によるPCやゲーム機などの業ごもり需要もなくなったことで、特に当第2四半期会計期間における冷間圧延ステンレス鋼帯の売上高が当初予想に比べ大幅に減少する見通しとなりました。

損益面におきましても、売上高の減少に伴い生産シフトの調整や販売費および一般管理費を含む事業コストの削減を図ってはいるものの、当社板橋工場第三圧延工場の新設備稼働による減価償却費負担のほか、エネルギー、原材料、副資材の値上がり等による原価率の上昇を避けることは出来ず、またこれら諸コスト上昇に対応した販売価格は是正が遅れているなどの理由から、当社の業績が大幅に悪化する見通しです。

なお、通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間以降には自動車関連産業での在庫調整が終了して需要が回復し、販売価格の是正も進むなど、売上高・損益とも改善に向かうと考えておりますが、依然として先行きが不透明のため、下期の業績予想をそのままとし、上期の業績予想の修正のみを反映させております。当期の配当金につきましては、現時点で当初予想からの変更はありません。今後の動向を見定め、変更が生じた場合には速やかに開示いたします。

厳しい経営環境が続きますが、下期以降、在庫調整の進展による売上高の回復、諸コストの上昇に対するコスト削減と販売価格の是正の推進に注力し、早期の業績改善を推進いたします。また、第1次経営計画で事業化・量産化を目指す新事業アイテムを中心とした高収益差別化製品の拡大を推進し、高収益体質への転換に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第116期定時株主総会を開催しました

2023年6月29日(木)に本社事務所5階にて第116期定時株主総会と、4年ぶりとなる株主懇談会を開催いたしました。昨年に比べ新型コロナウイルス感染拡大防止対策を一部緩和したものの、株主の皆様には当日の検温、座席数の抑制などご協力いただいた上での開催となりました。

株主総会には16名の株主が来場し、議長である下川より116期（2023年3月期）の経営成績や決算の内容などについて報告を行いました。その後の決議事項の採決では、全議案が可決され、閉会となりました。また、株主懇談会では第11次経営計画についての説明と、株主との質疑応答、意見交換を行いました。

ご出席いただいた皆様、議決権を行使いただいた皆様、誠にありがとうございました。



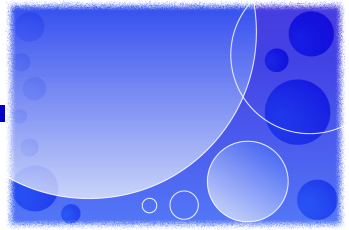
◆役員（2023年8月31日現在）

取締役社長 （代表取締役）	下川 康志	社外取締役（独立役員）	小川 和洋
専務取締役	原田 喜弘	社外取締役（独立役員）	永塚 良知
専務取締役	山下 匡史	常勤監査役	假屋 ゆう子
常務取締役	長谷川 伸一	社外監査役（独立役員）	進藤 紀充
常務取締役	山崎 修	社外監査役	砂山 晃一
			浦上 純一郎

役員／組織
（当社ホームページ）



株主総会におきましては、株主の方からたくさんのご質問をいただきました。その中からいくつか次ページにてご紹介させていただきます。（株主総会での質疑応答の公開についても株主様よりご意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございます。）



◆株主総会での質問と回答、当社の対応について

・東証のPBR1倍割れ企業への要請について

【回答】東証からの要請については、計画策定・開示の前提として十分な現状分析や検討を行うことが求められており開示について具体的な時期の定めはありませんが、できる限り速やかな対応を検討しております。

→東証が推奨する指標「WACC」「株主資本コスト」「ROIC」「ROE」「株価・時価総額」「PBR」「PER」等の中から当社の特性及び投資家のニーズにあった指標を選択し、目標設定及び活動計画を立案する予定です。なお、十分な現状分析や検討が必要なため、開示には一定の期間を要する見込みです。

・上場市場の選択について

【回答】市場区分の再選択期間における市場変更の選択に関して、それぞれの市場区分のメリット・デメリットを考慮して、検討しております。

→トップメッセージ(P.1)にもあります通り、上場廃止のリスク等を鑑み8月25日にスタンダード市場への上場を選択いたしました。

・上場維持基準適合に向けた計画の進捗状況について

【回答】説明が不足しているところがあるため、今後説明してまいります。

→スタンダード市場を選択したため上場維持基準適合に向けた計画の対応は不要となりますが、PBR1倍割れへの対応等で引き続き業績向上や株主還元強化に努め、時価総額の向上を目指してまいります。

・株価低迷について

【回答】新技術や新製品の開発を一層推し進めていくことで業績を改善し、配当を増やすことで、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

→東証からの要請への対応と平行して、2024年3月末を目途に外部環境の変化を踏まえた第11次経営計画のローリングの実施を検討しております。

・役員の当社株式取得数の向上について

【回答】役員による当社株式の取得に関しては、インサイダー取引規制違反とならないよう、一定の計画に従い毎月当社株式を買い付ける役員持株会に各役員が任意で加入し、当社株式を取得することで積み立てを行っております。

→社内役員については、現在、全員が役員持株会に加入し、拠出額も低額ではないと考えておりますが、他社事例なども参考に、再度、役員持株会への拠出額について検討いたします。

板橋工場の排水回収設備が稼働を開始しました

東 京都の工業用水道事業廃止に伴う「節水対策支援」を活用した排水回収設備新設の計画において、東京都との合意に至り、2022年3月より当社板橋工場（東京都板橋区）の既存水処理設備の改善と排水回収設備の新設を進めておりましたが、工事が完了し2023年7月より本稼働を開始しました。



新設された設備外観

すでに工場で使用する用水は、2021年末に工業用水から上水への切り替えが完了しております。今後、排水回収設備を安定的に稼働させ、回収水（導入前比約60%の排水回収率向上を想定）の再利用を推進し、効率的な水資源の運用を進めることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳細はこちら（プレスリリース）

<https://www.nipponkinzoku.co.jp/images/2023/07/d63791-30-73153d458c78439f9968087873822db9.pdf>



「はまっ子防災プロジェクト」に協賛しています

当 社は「はまっ子防災プロジェクト」の活動に賛同し、協賛・応援しております。「はまっ子防災プロジェクト」は、神奈川県横浜市内の中学生がわかりやすく防災を学ぶことを目指した、横浜市との共創プロジェクトです。同プロジェクトが毎年9月1日に市内の公立中学校1年生を対象に配布するアイテムのうち、『マグネシウムライト』に当社のマグネシウム合金圧延材が採用されていることから、2023年4月より協賛を始めました。



配布アイテム（右下がマグネシウムライト）

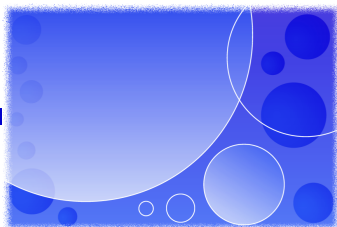
マグネシウムライトは少量の水分で72時間点灯し非常時に役立つ防災グッズです。内蔵のマグネシウム電池と水の化学反応で発光するため、乾電池は不要です。また、本体は約30gと軽く、持ち運びしやすいコンパクトサイズとなっています。

詳細はこちら（プレスリリース）

<https://www.nipponkinzoku.co.jp/images/2023/08/d63791-32-d257131957e0dcd3d4ca8fcdf81506bb.pdf>



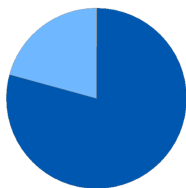
第117期第1四半期業績ハイライト



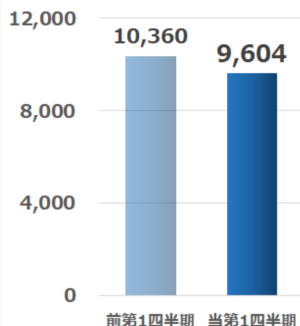
◆みがき帯鋼事業

売上高比率

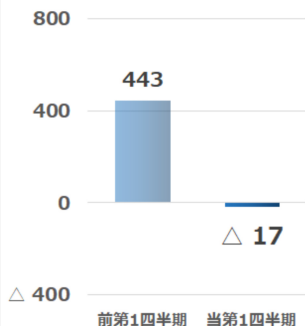
79.3%



売上高



営業利益

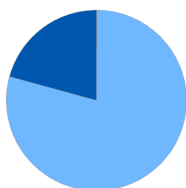


半 導体供給不足などの影響で在庫調整が続く自動車関連製品や、前年同期は好調であった電池関連製品などで販売数量が大幅に減少したため、当第1四半期連結累計期間のみがき帯鋼事業の売上高は、前年同期比755百万円（7.3%）減収の9,604百万円、営業損益は17百万円の損失（前年同期は443百万円の利益）となりました。

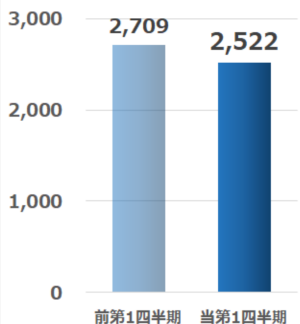
◆加工品事業

売上高比率

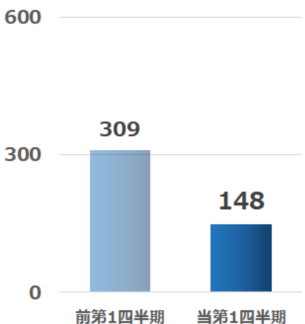
20.7%



売上高



営業利益



岐 阜工場取扱製品では、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い外食産業向けの飲料機器関連製品の受注が回復に転じた一方、福島工場取扱製品では、主力製品である自動車駆動部品用高精度異形鋼の中国市場での回復遅れや建築関連製品の市場低迷により受注が減少したため、当第1四半期連結累計期間の加工品事業の売上高は、前年同期比187百万円（6.9%）減収の2,522百万円、営業利益は前年同期比161百万円（52.0%）減益の148百万円となりました。

会社概要・株主メモ

◆会社概要 (2023年6月30日現在)

創 業 1930年11月10日
 設 立 1939年12月2日
 本店所在地 東京都板橋区舟渡四丁目10番1号
 本社事務所 東京都港区芝五丁目30番7号
 電話(03) 5765 - 8111 (大代表)
 資 本 金 68億5千7百万円
 連結従業員数 889名
 当社従業員数 606名

◆株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から
 翌年3月31日までの1年
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主 配当金受取方法の 変更等)	お取引の証券会社等 になります。	当社の特別口座の口座管理機関みずほ信託銀行へお問い合わせ願 います。 〒168-8507東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
未払配当金の お支払	右記みずほ信託銀行 までお問い合わせ願 います。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電 子提供制度(書面 交付請求)につい てのお問い合わせ	お取引の証券会社ま たは右記みずほ信託 銀行までお問い合わせ せ願います。	ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく 必要があります。



単 元 株 式 数 100株
 公 告 方 法 当社のホームページ (<https://www.nipponkinzoku.co.jp>) に掲載します。ただし、
 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合
 は、日本経済新聞に掲載します。
 上 場 取 引 所 東京証券取引所プライム市場(2023年10月20日よりスタンダード市場に移行予定)